


# 砂丘

発行：独立行政法人 国立病院機構

 鳥取医療センター

発行責任者：下田 光太郎

## 理念

1. 人類愛に基づく、質の高い医療を提供する。
2. 患者本位の医療体制を確立し、十分な説明と同意の下に、自由意志を尊重し、人としての尊厳を守る。
3. あらゆる情報の公開に努め、医療人としての自己研鑽に努める。

## トピックス

1. 平成26年度鳥取医療センターの目標
2. 新任ご挨拶・転入者ご挨拶
3. 電子カルテシステム運用から1年を経過して
4. 第7回鳥取医療センター看護・臨床研究発表会
5. 摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動



## 平成26年度鳥取医療センターの目標

鳥取医療センターの職員、並びに関係者の皆様、年度始の人の出入りも一段落し、新たな体制で鳥取医療センターの新事業年度がスタートいたしました。昨年度当院では、年度当初目標に掲げた事柄の多くが達成でき、さらに一年ぶりに年度末賞与が支給され、職員一同感謝申し上げる次第です。

さて平成26年3月14日厚生労働大臣より独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第29条第1項の規定に基づき、国立病院機構が達成すべき業務運営に関する目標が定められました。これを受けて国立病院機構は独立行政法人国立病院機構中期目標を達成するため同法第30条の定めるところにより同3月31日国立病院機構第三期中期計画(平成26年4月～平成31年3月)を策定いたしました。

厚労大臣の前文の中では社会の高齢化に対応した、地域の医療福祉から地域完結型医療への転換を推進し、地域を単位とする包括的な医療介護システムの構築が目標となっています。この方向に沿いつつ、都道府県の医療計画を踏まえた5疾病5事業や在宅医療を推進するための地域連携、国の危機管理や積極的貢献が求められる医療、他の設置主体では必ずしも実施されない恐れのあるセーフティーネット分野の医療などを提供することとしています。当院ではこうした機構の定める方針に従いつつ、地域から特に求められる医療の提供を行っているところです。昨年度より深刻な精神科医師不足により十分な医療提供が滞ることが起こっており、地域の患者さん並びに職員にご迷惑をかけているところです。本年度は鳥取大学精神科医局による長期的な視野に立った全面的なバックアップ体制確立の取り組みが行われています。病院一丸となって対応していきます。そうした状況では、特に患者さんを中心とする診療科を超えた医療連携、さらに多職種連携を強力に推し進めることで、人員不足や仕事の効率化が押し進められると考えています。



鳥取医療センター 院長  
下田 光太郎

平成26年度の当院の目標をお示しいたします。

#### 一. 医療提供

現在当院が提供している医療には政策医療と地域医療があります。政策医療においては国立病院機構と連携をとりながら、より質の高い透明性のある医療の提供を行う。また地域医療においては地域における当院の役割を明確にし、地域住民の皆さんや医療機関と密な連携をとりつつ、住民の皆様から信頼され喜ばれる医療の提供を行う。その際に職員一人一人が相手の立場に立った接遇に心がける。昨年度より電子カルテが導入され特に大きな問題等もなく、運用されていますが、今年度は更にその充実に努め、特に診療情報管理の充実に努める。

#### 二. 臨床研究

当院と地域の他施設との最大の違いは臨床研究部の存在です。治験を含めた臨床研究をさらに充実させ、臨床に密着した基礎研究を行い医療者のレベルを高めるとともに魅力ある就労環境を整備する。

#### 三. 研修と情報発信

国立病院機構の大きな特徴の一つは職員の教育研修です。国立病院機構の他施設との連携や地域の病院との連携を行い、常に情報を発信する。

#### 四. 経営努力

昨年度は何とか経常収支率100%を超えました。今年度は昨年以上の経常収支率を目指します。職員皆様のご協力をお願いいたします。

#### 五. 設備事業

建物整備は現段階で一段落しています。本年度は医療機器整備としてMRIの更新の時期にきています。診療・臨床研究に、また地域にとってより利便性と効率性が高まる様な機器整備を行いたいと考えており、鋭意検討中です。

また本年度は当院の桜の花が見事に咲き誇りましたが、老木化しており、病院周辺の植栽計画のさらなる充実をはかります。

#### 六. 人材確保、人事交流

医師、看護師、リハビリスタッフの確保を積極的に行い、同時に育成を行っていく。特に医師においては初期研修医、後期研修医の育成をおこなう。また地域の他医療機関と医師の交流を双方向性に積極的に行う。

本年度も地域住民の皆様喜んでいただける医療機関を目指して職員一同誠心誠意努力をしていきたいと思います。さらに皆様とともに楽しく働け、利用していただける医療機関にしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## ○ 新任ご挨拶 ○

### 看護部長 山根美子

4月1日付で四国がんセンターから配置換えで参りました山根美子と申します。この地での勤務は、国立療養所西鳥取病院時代に新任の看護師長として外来・重心病棟で勤務しました。未熟ながらも皆様に支えられ楽しく仕事をさせていただきました。現在の鳥取医療センターは、建物整備も完了し、日本海と湖山池の眺望も素晴らしく、恵まれた療養環境です。人材育成、機能充実に尽力して参りたいと決意を新たにしているところです。

高齢化が進む我が国においては、地域を単位とする包括的な医療・介護システムの構築が目標であり、国立病院機構も26年4月から第3期中期目標を基に中期計画がスタートしました。より一層地域医療への貢献を果たすこと、医療の質の改善に取り組むこと、地域のニーズに対応した効果的な経営改善策を実施することに積極的に取り組んでいきます。

看護部としては、国立病院機構の方針、病院の理念・

方針に基づき、「命の尊厳と人権擁護を基本に暖かい看護を目指します」「共に考え、共に行動し、共に成長する看護を目指します」ことを理念にかかげています。あたたかい看護を育てるポイントとして、「あたたかい眼差し」「爽やかな挨拶」「関心を持って寄り添う」「冷静な判断」「機敏な対応」を行動指針として活動しています。今後も継続して、専門職として質の高い医療・看護・介護が提供できるように努力していきたく思います。そして、精神看護専門看護師や各分野の認定看護師、種々のエキスパートの育成にも力を注ぎたいと思います。また、経営基盤の安定は良質の医療・看護・介護の大前提です。病院経営にも積極的に参画したいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



# ○ 転入者ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤皆さんの当院での夢や希望

- ①古澤 康之  
②診療部外科医長  
③兵庫県  
④ひたすら読書



⑤高松医療センターに7か月ほどお世話になり、再び当院に帰ってきました。古巣に戻ったかのような安堵感を覚えています。高松の良かった点、そうでない点を思い出しながら、これからは鳥取医療センターのために尽力したいと考えています。

- ①多内 明  
②事務部企画課専門職  
③鳥取県  
④野球観戦



⑤5年ぶりに米子医療センターより鳥取医療センターに帰ってきました。5年前と比べると、重心病棟をはじめ建物が新しく整備されており、また、電子カルテも導入されていて、働く環境は充実していると感じました。早くこの環境に慣れて、少しでも病院に貢献できるように頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

- ①本永 興一  
②事務部企画課経理係長  
③山口県下関市  
④ドライブ



⑤このたび、浜田医療センターより参りました。鳥取は初めてになります。まだ戸惑うことが多くご迷惑をおかけすることが多いのですが、何とかがんばっていきたいと思いますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

- ①高橋 仁司  
②臨床検査科・臨床検査技師長  
③島根県出雲市  
④スポーツ観賞



⑤国立病院に就職し、30年が経過しました。勤務した施設も当院で7施設目(大阪⇒広島⇒島根2カ所⇒広島⇒岡山⇒鳥取)です。早く当院の業務に慣れ臨床に役立つデータの提供に努力いたします。家族は妻1人に子供3人ですが、単身赴任です。よろしくお願いいたします。

- ①大畑 いく子  
②臨床検査科・副臨床検査技師長  
③鳥取県八頭郡若桜町  
④散歩と山歩き



⑤米子医療センターで4年間勤務をして、鳥取医療センターに帰ってきました。4年ぶりの仕事は新人並です。皆さんの足を引っ張らないように、頑張りますので宜しくお願いします。古い記憶も少しずつ蘇っていますが、新しい事を覚えることに悪戦苦闘しています。

- ①立石 葉子  
②リハビリテーション科・作業療法主任  
③東京都  
④出鱈目に歩くこと



⑤初めての役職で緊張しています。机に向かうより患者さんに向かう方が好きなのですが、運営業務も必要なのは重々承知です。大勢いるリハビリ職員をサポートしながら、患者さんが元気と自信を取り戻せるように努めていきます。

- ①前田 勝也  
②療育指導室・主任児童指導員  
③広島県  
④バレーボール



⑤お久しぶり(?)です。1年間ですが高知県へ武者修行に行き、縁あってまたこちらで務めさせて頂くことになりました。重症心身障害病棟を中心に、療育活動、生活支援、ケースワークを軸に多岐に渡りご支援させて頂きます。よろしくお願いいたします。

- ①廣田 純子  
②療育指導室・主任保育士  
③広島県  
④なし



⑤このたび、柳井医療センターからこちらで務めさせて頂くことになりました。暖かい柳井を出発し、山越えの路肩に雪を見たときには非常に驚きました。初心にかえり一日も早くお役にたてるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

- ①松永 清志  
②看護部副看護部長  
③広島県  
④お好み焼き



⑤4月1日より着任いたしました。いまだに院内を迷子になることがあります。どうぞ声をかけてください。直近の課題は、広島弁を使う鳥取県人となることです。どうぞよろしくお願いいたします。

- ①住吉 崇史  
②看護部10病棟看護師長  
③広島県  
④野球・ゴルフ



⑤看護師長としては1年目であり、特に管理面においては知識不足で、病棟スタッフには助けてもらってばかりです。一日でも早く看護師長としての役割を果たせるよう日々自己研鑽に取り組み頑張っていきたいと思います。困っている時は、アドバイスなど宜しくお願いいたします。

## ○ 転入者ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤皆さんの当院での夢や希望

①澤田 典子

②看護部7病棟看護師長

③鳥取市

④ドライブ

⑤賀茂精神医療センターより転勤して来ました。元々は当センターで長く働いていましたが、今回の転入で新しい病院に来たような感じです。早く病院に慣れ、安心・安全な看護、働きやすい職場作りを目指したいと思います。よろしくお願いします。



①加藤 藍子

②看護部2病棟看護師長

③米子市

④ショッピング

⑤この度米子医療センターから転勤してきました。とにかく病院が広く、日々迷子になっています(笑)新米師長ですが早く病院に慣れて、仕事を覚えて患者様や皆さんのお力になればと思いますので、よろしくお願いします！！



①村上 恵

②看護部9病棟看護師

③広島県

④キャンプ

⑤福山医療センターから鳥取医療センターに転勤してきました。早くこの環境に慣れ、自分らしい看護ができるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



①万波 知佳

②看護部9病棟看護師

③島根県

④ダーツ

⑤この度、米子医療センターから、鳥取へ来ました。初めての地で、わからないことだらけですが、皆さんに温かく迎えて頂き嬉しく思います。笑顔で毎日仕事をする事を目標に頑張っていけますので、よろしくお願いします。



## ○ 新職員ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤ひと言

①兼子 幸一 ②精神科非常勤医師

③東京都 ④音楽鑑賞

⑤4月から非常勤職員になりました精神科医の兼子幸一です。毎週木曜日の診療を通じて少しでも地域医療に貢献したいと思います。よろしくお願い申し上げます。



①板倉 征史 ②精神科非常勤医師

③島根県 ④バスケットボール

⑤よろしくお願いします。



①磨井 祥吾 ②機能訓練室

③広島県 ④カメラ

⑤旅、パン、広島カープ、魚介が好きです。鳥取のご飯がおいしいので太らないように気をつけます。よろしくお願いします。



①林 沙季 ②機能訓練室

③鳥取県 ④カフェめぐり

⑤カフェめぐりの他にも、スポーツなども好きです。これから、宜しく願い致します。



①緒方 大希 ②機能訓練室

③佐賀県 ④サイクリング

⑤新人の緒方です。得意なことは合気道です。好きな食べものはコロッケとカレー(辛)です。先輩方・同僚の方からはおがっちゃんと呼ばれています。またはチャンさんと呼んで頂けたら幸いです。今後ともよろしくお願い致します。



①磯江 慎吾 ②機能訓練室

③鳥取県 ④野球・音楽

⑤ジャイアンツが好きで、趣味はDJ。今現在の目標は、痩せてスタッフルーム内で歩いていて、椅子や机にぶつからないようになる事です。宜しく願い致します。



①藤原 亜優美 ②機能訓練室

③鳥取県 ④カラオケ

⑤米子から来て、まだ鳥取市内のことはよくわかりません。おいしいお店があれば教えて頂けると嬉しいです。宜しくお願いします。



①長迫 東子 ②療育指導室

③山口県 ④音楽・写真

⑤この度、4月から児童指導員として配属されました、長迫と申します。朝は湖山池の風景を見ながら自転車通勤しています。一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願い致します。



# ○ 新職員ご挨拶 ○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤ひと言

- ①太田 真貴 ②心理療法室  
③島根県 ④旅行、スノーボード  
⑤不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願ひします。



- ①西尾 佳純 ②栄養管理室  
③鳥取市 ④音楽鑑賞  
⑤何かと不慣れで、ご迷惑をおかけする点も多いと思いますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



- ①井手添 典子 ②1病棟  
③鳥取市 ④温泉に行くこと  
⑤一年半ぶりに鳥取医療センターに帰ってきました。いつも笑顔で患者さんに寄り添える看護を行いたいと思います。



- ①藤原 真奈美 ②1病棟  
③島根県松江市 ④映画鑑賞  
⑤看護師1年目の新人です。わからないことだらけですが、先輩方に助けて頂きながら挨拶と笑顔を忘れずに頑張りたいと思います。



- ①竹部 沙樹 ②2病棟  
③湯梨浜町 ④手話・バルーンアート  
⑤今まで経験のない特殊な診療科のある病院なので、一般的な知識に加えて色々な方面で勉強や経験をしていきたいです。



- ①小柴 裕子 ②2病棟  
③鳥取市 ④音楽鑑賞・バトミントン  
⑤まだまだ仕事に慣れず不安な部分もありますが、患者様との信頼関係を築き、個性のある看護を実践していけるよう頑張りたいです。



- ①杉山 愛理 ②2病棟  
③倉吉市 ④DVD鑑賞・バトミントン・嵐が大好き  
⑤高校時代入院していた私に優しく声をかけてくれた看護師さんとの出逢いが看護師を目指すきっかけになりました。人の辛さや思いに寄り添う看護師になれるよう頑張ります。



- ①絹谷 みゆき ②3病棟  
③米子市 ④どこかにお出かけ  
⑤はじめまして。今年、米子北高校を卒業しました。看護師1年目の絹谷みゆきです。不安と期待を胸に、スマイルを大切に頑張ります！よろしくお願いいたします！！



- ①松原 美紀 ②3病棟  
③米子市 ④読書  
⑤はじめまして。看護師1年目の松原美紀です。おっちょこちょいな所がありますが一生懸命、落ち着いて頑張ります！よろしくお願いいたします。



- ①宮脇 涼 ②3病棟  
③鳥取市 ④バレーボール  
⑤初めまして！宮脇涼です！今、看護高等専修学校に通いながらこちらで働かせて頂いています。病院勤務が初めてですので分からない事ばかりですが一生懸命、お役に立てるように頑張ります！



- ①佐藤 初音 ②4病棟  
③高知県 ④読書  
⑤高知から来ました。最近やっと鳥取の気候に慣れてきたところ。4病棟に配属になり少しづつ病棟の業務を覚えて、早く一人前になれるよう頑張ります。



- ①川本 英津子 ②4病棟  
③鳥取市  
④パッチワーク・旅行・スキー  
⑤お久しぶりです。介護が終わり体も気持ちも少し大きくなって、戻ってきました。大好きな重心病棟で毎日楽しく働いています。よろしくお願いいたします。



- ①日下部 大地 ②4病棟  
③鳥取市青谷町 ④車が好きです  
⑤初めまして、日下部といいます。医療の仕事につくのは初めてなので分からないことがたくさんありますがまじめにがんばっていききたいと思います。



- ①茗荷 朋子 ②4病棟  
③鳥取市 ④卓球  
⑤重度の障害者の介護は初めてなので戸惑いもありますが、頑張ります。帰ってからのビールがおいしいです。



# ○新職員ご挨拶○

①氏名 ②職場・職名 ③出身地 ④趣味・スポーツ等 ⑤ひと言

①畑 孝門 ②5病棟  
③鳥取市 ④スキー・水泳  
⑤学校に通いながらこちらで働かせて頂いています。いずれは鳥取の地域医療に貢献したいと考えております。宜しくお願い致します。



①大口 弥峰 ②6病棟  
③大山町 ④手芸  
⑤鳥取医療センターには、学生実習の頃から大変お世話になってます。早く病棟に慣れ、自分の目指している看護師像に向かって、頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。



①渡邊 忍 ②7病棟  
③鳥取市 ④旅行  
⑤昨年12月から7病棟でお世話になっています。患者さんの気持ちに寄り添いながら生活支援をしていきたいです。よろしくお願いします。



①坂出 玄 ②7病棟  
③琴浦町 ④韓国ドラマ鑑賞  
⑤なんでも自分の身につくのに時間がかかってしまいますが、毎日一歩ずつでも成長して行きたいと思えます。よろしくお願いします。



①中谷 江里子 ②7病棟  
③鳥取市 ④スポーツ観戦  
⑤精神科で働くのは初めてのなので、新たな気持ちで1日も早く病棟に慣れていきたいと思っています。毎日一生懸命頑張っていきたいのでよろしくお願いします。



①實重 桃子 ②8病棟  
③米子市 ④音楽・DVD鑑賞  
⑤新しい環境で、初めてのことばかりに戸惑う毎日ですが、頑張りますのでよろしくお願いします。



①中尾 憲二 ②8病棟  
③倉吉市 ④野外スポーツなら…  
⑤精神科をしっかりと学ぶ。いろんな事を勉強したいです。



①清水 一志 ②8病棟  
③湯梨浜町 ④食べる事が大好きです  
⑤みなさんにえっと迷惑かけんやぁにがんばりますけえ、よろしくお願いします。



①泉谷 亮輔 ②9病棟  
③鳥取県 ④スノーボード  
⑤これから頑張っていきますのでよろしくお願いします。



①鳥羽 圭子 ②地域医療連携室  
③鳥取市 ④K-POP音楽鑑賞  
⑤初めての病院勤務でとまどう事も多いですが、早く仕事を覚えてお役にたてるように頑張りたいと思えます。



①平木 梓 ②地域医療連携室  
③沖縄県 ④バレーボール  
⑤4年ぶりの病院勤務で、緊張していますが、一生懸命頑張りたいと思えますので、よろしくお願いします。



①田淵 朗子 ②看護部長室  
③鳥取市 ④サッカー観戦  
⑤病院での仕事は初めてですが、一日も早く慣れて、頑張りたいと思えますので、よろしくお願いします。



①安東 広美 ②臨床研究部  
③鳥取 ④ダーツ始めました  
⑤今まで大きなケガや病気に罹ったことがなく、健康が取り柄です。花粉の時期ですが、アレルギーにも負けず頑張ります。宜しくお願い致します！



## ● 電子カルテシステム本稼働から1年経過して ●

企画課長 川村 豊 昭

電子カルテ導入を平成23年に表明後、平成25年4月1日の本稼働に向け各ワーキンググループによる作業、部門システムベンダーとの打ち合わせ等を幾度となく重ね、無事本稼働して1年を経過しました。

短期間での導入は、一重に職員みなさまのご努力・ご協力があったの事であります。本稼働後、院内のヘルプデスクへの問い合わせ(トラブル・質問等)件数は、当初600件を超えていたものが、1年経ち3月には200件と減少、問い合わせ内容も操作説明や入力補助的な事から現在では運用上での問題点・疑問点、さらにはシステムの変更希望等へ変化しています。これは、職員の方が電子カルテの使用に慣れ、場面に応じ「この操作はもっと簡単にできないか」「この画面はこうしてほしい」等、仕事の状況に合わせて考えて頂いている結果だと思えます。

今後ちょっとした事でも構いません、「これは使える」「この場面はこうした方が・・・」という気付きや要望を変更可能・不可能はありますがお寄せ頂ければと思えます。

また、この1年PCやプリンターの故障・不具合もありましたが、数的には少なくサーバー本体の重大な故障は現在まで起こっていません。

ここで改めて、平成23年9月に電子カルテ導入の目的をお示ししていますが記載します。

1. 医療の質の向上
  - ・ 診療情報の共有によるチーム医療の強化
  - ・ 多職種間の業務連携精度と効率の改善
2. 業務の効率化
  - ・ 各種伝票の処理時間や誤伝達の改善
  - ・ 検査結果、画像データ整理の省力化
  - ・ 診療録保管管理作業の効率化
  - ・ 医事会計業務の効率と精度向上 他
3. 患者サービスの向上
  - ・ わかりやすい診療情報の説明と開示
  - ・ 地域医療連携での情報交換
  - ・ 待ち時間の短縮
4. 診療情報のデータベース利用 他

1年が経過し慣れてきてはいますが、導入目的を再確認していただき、電子カルテシステムを有効に活用して頂ければ幸いです。

## ○ 職場紹介 ~10病棟~ ○

副看護師長 安岡 輝 久

鳥取医療センターは、医療観察法としての医療を平成22年5月より開始していましたが、平成25年2月に17床の病棟として新たに開設しました。医療観察法は、①治療の対象となる人の社会復帰の早期実現、②多職種(医師・看護師・作業療法士・臨床心理士・精神保健福祉士)チームによる医療の提供、③プライバシー人権に配慮した医療の提供等を柱として行っています。病棟が新しくなったことで、体育館・中庭が整備され治療環境の幅が広がりより活動性が向上しました。社会復帰に向けて実施される外出プログラムについては、安全に配慮し、専門的知識を持った多くの職種で計画して行っています。医療観察法による医療は、始まってから歴史が浅くあまり馴染みがないかもしれませんが、スタッフは一丸と

なり、力を合わせて、治療に取り組んでいきたいと思っています。そして、対象となる方々の社会復帰に向けては、地域の方々と連携を取り、治療に対してご理解を頂きながら、継続的な支援を行っていきたいと考えています。



# 第7回 鳥取医療センター看護・臨床研究発表会を開催して

臨床研究部長 小西 吉 裕

当院の平成25年度の看護・臨床研究発表会は、去る2月の20、21日に行われました。これで7回目となります。まずは、この会の歴史を説明しておきたいと思えます。平成20年3月、第1回目の鳥取医療センター臨床研究発表会が開催されました。この会の趣旨は当院の「臨床研究部規程」に記載されておいて、「当院の臨床研究部員(規程により、当院職員全員を指します。

のまま終わらせるのではなく、論文として印刷物の形で残していられることを望みます。幸い、当院には国立国会図書館に学術雑誌として登録しています学術機関誌がありますので、奮って投稿していただきたいと思えます。当院のホームページに各論文の抄録は掲載していますし、論文内容に関し、年間、数十件の問い合わせが院外からあります。

今回は看護部から15題のほか、臨床研究部から4題、臨床検査2題、リハビリ2題、薬剤科1題が発表されました。また、鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻の高間さとみ先生に「多職種で取り組むチームカンファレンス」を、京都大学大学院医学研究科医学医科学専攻の漆谷真先生に「抗体応用による筋萎縮性側索硬化症の多面的分子標的治療」について御講演を頂戴いたしました。毎年、この研究発表会にはその各分野でご活躍の先生方をお招きして御講演いただいています。

さて、当院臨床研究部規程細則3に、優れた研究に対し「最優秀賞」、「優秀賞」、「準優秀賞」を採択し、賞を授与する、とあります。今回は、各部署で2名から3名の方々

にお願いし、あらかじめ抄録集をお渡しし、最も印象深かった発表演題3題を挙げていただきました。その



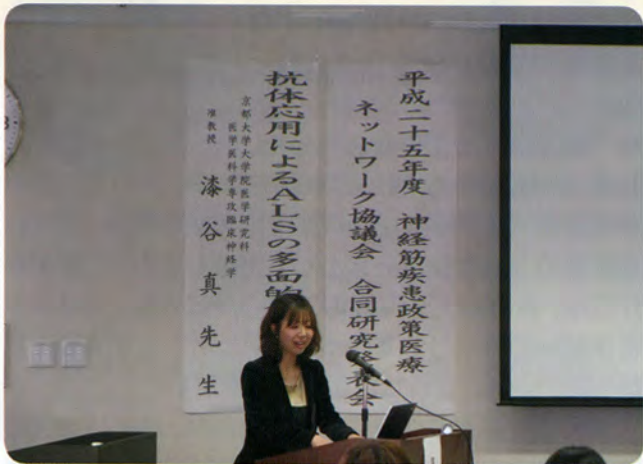
(院長あいさつ)

非常勤も含まれます)の横の繋がりを強化し、お互いの理解・交流や共同研究を推進することで各部員の研究業績の向上を図り、更に研究に関する情報収集、研究成果の院外への情報発信、院外研究者との情報交換や交流を深め、部員が、ひいては当院が、鳥取県のみならず世界の保健・医療・福祉の増進、学術・文化の振興に寄与することを目的に開催する」とあります(第14条)。実はこの時まで、鳥取医療センター看護研究発表会は別個に、毎年12月に開催されておりました。その看護研究会の発表演題の論文集は、それまで職員の自腹によって作成されていたのを憂い、また、上記規程で謳われていることを実践するために、当時の副看護部長と話し合い、平成20年12月、看護部との同意にて、歴史ある看護研究発表会を臨床研究活動の重要な一環と位置付け、平成20年12月、第2回目の鳥取医療センター看護・臨床研究発表会を開催致しました。この年より看護研究発表会と合同で行われることになったのです。本発表会はその年の鳥取医療センター各部署の臨床研究成果を発表する機会を提供していますが、各発表者におかれましては、これを土台として院外の全国レベルの学会への発表へ繋げ、そして、今回も下田院長が開会の辞で述べましたように、これをこ



(京都大学漆谷先生のご講演模様)





(鳥取大学高間先生のご講演の様様)

の支えや病棟スタッフに協力して頂いたおかげです。本当にありがとうございました。

(第9病棟)新しい講師の先生の指導のもと、研究の進め方を一から学ぶことができました。一方、山登りノートを使用することで時間をかけて試行錯誤することとなり、メンバーみんなで方向性について悩む日々も多かったです。しかし、他の病棟スタッフ、リハビリスタッフなど、多くの方の協力を得ることで、無事研究を終えることができました。今回の研究により得た学びを、今後の看護の様々な場面で生かしていきたいと思います。



(発表の様様)

結果、得票数の多かった演題順に、第一位(最優秀賞)を第1病棟の「人工呼吸器装着中である筋萎縮性側索硬化症患者の看護師の関わりに対する患者の想いを知る～インタビューを通して考察する～」に、第二位(優秀賞)を第10病棟の「医療観察法病棟に携わる看護師の内省に関するインタビュー調査～内省に対する視点やアプローチの実態を明らかにする～」に、第三位(準優秀賞)を第9病棟の「危険予測におけるリハビリ内容把握の有効性～回復期リハビリ病棟看護師のインタビューから分かったこと～」に授与いたすことに決定しました。なお、次点は7病棟の「多飲水患者への飲水量自己調節の意識付けを試みた関わり方の検討」でした。

以下に、第1、10、9病棟の研究担当者の喜びの声を掲載したいと思います。

(第1病棟)25年度の看護研究では、筋萎縮性側索硬化症の患者様を対象に、看護ケアに対する思いをインタビューさせて頂きました。日頃の私達看護師の看護ケアに対する率直な思いを聞かせて頂き、患者様が日々感じていることを知る良い機会となりました。今回の研究で得たことを、今後の看護に活かし、患者様に対するケアの質の向上に繋げていこうと思います。

(第10病棟)今回の研究で取り上げた「内省」には定義が無かったので、インタビューを行った看護師による共通点や相違点が出せるようにと、カテゴリーの分類・表現の仕方について苦戦してメンバーと共に悩みました。研究を行った結果、看護師の内省の捉え方は概ね共通していたこと、関わり方には2つの視点があったこと、内省を判断するポイントには3つの視点があったことを明らかにすることが出来ました。鳥取医療センター発表会が行なえたことは研究メンバー

実を言いますと、最近始まった病院フェスタのようになればという願いを込めて、第1回目から計画・企画してきました。ですから、参加者に飲み物、食べもの(パンやドーナツ)を配布したり、歌のコンサートを含めて開催した年もありました。実際、他の国立病院機構の病院で、病院フェスタの一行事と位置付けて開催しているところもあります。目指すは、院外の方々、可能であれば患者様やそのご家族の方々も参加できるようなフェスタ的な形です。市民講座的なものも組み込みができればと思っております。また、今回、開催翌日に「中四国神経筋疾患政策医療ネットワーク協議会合同研究発表会」を繋げて開催致しました。本当は、この会での他施設の方々の発表を、鳥取医療センター発表会の演題発表の中に組み込みたかったのですが、準備不足でできませんでした。もう1つの目標は、少なくとも山陰地方の4つの医療センターが共同で開催する研究発表会の実現です。

# ● 摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動 ●

摂食・嚥下障害看護認定看護師 橋本由美子

食べるという行為には、生命維持をすることだけではなく、満足感が得られ精神的な安定をもたらす、食事を共にする人との繋がりを表す社会的な面もあると思います。しかし、食べる機能の障害があると、誤嚥を招き肺炎を発症し命に関わることもあります。

私の活動は、障害のことを多くの方々に知って頂き、障害があっても、安全に美味しく、楽しく食べる方法を見つけ実践していくことです。そして一緒に頑張ってくれる仲間を、摂食嚥下障害対策委員会や研修会を通して増やすことだと考えています。

一昨年度、当院入院中の患者様の肺炎罹患に関して調査した結果から、脳性麻痺、脳血管障害が原因疾患となっている長期臥床の患者様に肺炎罹患率が高く、さらに肺炎の既往がある場合は、再発の危険性が大きい事がわかりました。この結果を踏まえ、昨年度は安全な食事の提供が出来るように、病院食を試食し検討をしました。また、肺炎の再発防止を目的に患者様を

多職種で検討出来るような院内ラウンドの準備を進めています。

そして、仲間づくりに関しては委員会の中で毎回勉強会に取り組み、短い時間で大切な要点を病棟へ伝達できる工夫をしました。時間外研修会も企画し、「事例で学ぶ摂食・嚥下障害」として一般内科、精神科、重度心身障害の3回をシリーズとして開催しました。参加者からは、身近なテーマなので関心が持てた、自分が患者体験して分かりやすかった、学んだことを実践に生かしたい。などうれしい感想を頂きました。

まだまだ成果は伴ってはいませんが、患者様と病院関係者の方々に、認定看護師の取得ができた感謝とお礼ができるように、活動を通して恩返しをしたいと思えます。

1歩、1歩頑張りますのでよろしくお願いいたします。



## 人間として口から食べる意義

- ・ 生命を維持するための栄養補給
- ・ 楽しみ・意欲など人生の質を豊かにする



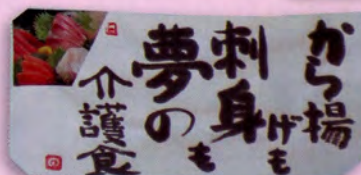
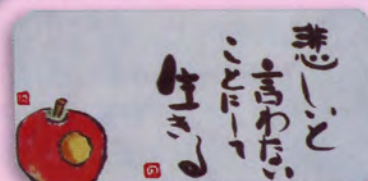
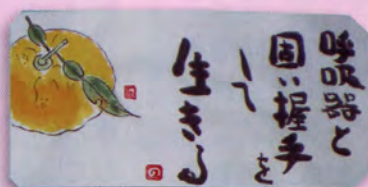
研修の様相

## ● 当院の患者様の作品を紹介します ●

一病棟<山岡紀子様>

生かされて  
食べるしあわせ  
かみしめる

ALS  
なぜか素直に  
なれなくて



## ● 私の趣味(my favorite) ●

### ジョギング(東京マラソンに参加して) 診療放射線技師長 富田 正二

2月23日09:10東京マラソンのスタート。42.195kmの旅。

鳥取に赴任して1年を過ぎた頃(4年前)から始めたジョギング。初日は100mで息切れしていたのが2ヵ月で10km、半年でハーフ(21.0975km)の大会に参加するまでにいたり10ヵ月後にはフルマラソンのスタートラインに並んでいました。ゴールしたときに感じた達成感・充実感に病みつきとなり各地を走り始めました。かといってアスリートではありません。単なるジョガーです。あしからず。

今回10.3倍の抽選に当選し、首都東京をおのぼりさん感覚。大雪の影響でどうなるかと思っていましたが、無事開催されました。スタート合図から5分スタートライン通過。前も後ろも6車線道路を埋め尽くす人・人・人。流石に3.6万人は凄い。熱気で寒さも吹き飛ば。

西新宿の都庁から飯田橋のビル群を抜けると視野が広がり皇居の前へ(10km)。東京タワーを横目に品川まで一直線。折り返して先頭争いをしている一流ランナー

を応援しながら中間点を目指す。

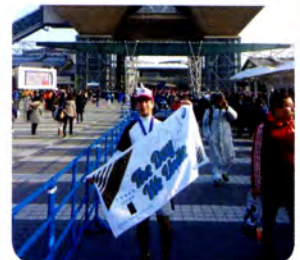
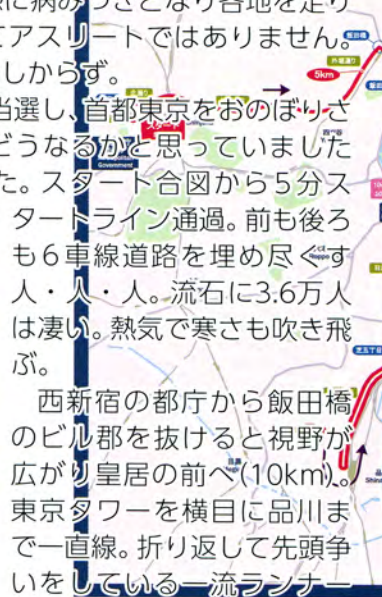
ちらちら舞うものが…雪?お〜寒。銀座の時計(四丁目交差点)を過ぎたあたりから「お・も・て・

な・し」(公設・私設のエイドによる軽食)を頂き元気を取り戻す。ふと気が付くと目の前にスカイツリー。雷門とのコラボに感激

(30km)。歌舞伎座の勇壮な姿に感心しながらも身体は疲労ごんばい(40km)。しかし、有明の東京ビッグサイトのゴールを駆け抜けた時には今までの5時間強の疲労がどこへやら。

普段は通れない道路を仮装(キリスト・弁慶・ソラカラ・ポスト・カネゴン他 何でもござれ)したランナーや老若男女が楽しんでます。そんな都市型大規模市民マラソンに参加できて楽しかったです。

今回も多くのスタッフ・ボランティア・沿道の観客・住民の方々の協力と理解によって私たちランナーは走ることができています。感謝の気持ちを忘れず、笑顔を決やさず続けていこうと思います。

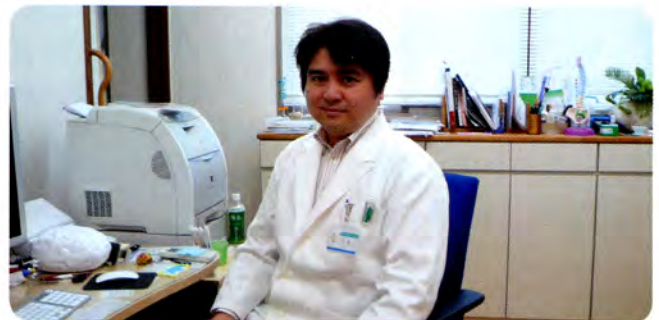


## ● 連携病院ご紹介 ●

### —下田神経内科クリニック—



当院は平成20年11月17日に開院いたしました。樗谿公園の近くにある、医師1名、看護師2名、事務職3名のクリニックです。頭痛、パーキンソン病などの神経変性疾患、認知症、脳卒中予防に特に力を入れています。また、ボツリヌス毒素療法を片側顔面痙攣、眼瞼痙攣、痙攣性斜頸、痙縮、原発性腋窩多汗症に対して積極的に行っております。医療機器は全身CT、レントゲン撮影装置、超音波診断装置、動脈硬化診断装置CAVI、心電計、重心動揺計を備え、血液検査は血液一般、CRP、血糖、HbA1c、INRを院内で検査可能です。鳥取医療センターには脳MRI検査、てんかん診療、脳卒中



や神経疾患の入院加療などで大変お世話になっております。精神・神経を専門とする充実した施設が身近にある事を大変心強く感じております。今後とも地域医療に貢献し、きめ細やかな良質の医療を提供できるよう、綿密な連携を宜しくお願い致します。

(下田神経内科クリニック 院長 下田 優)

※下田神経内科クリニック

住所 〒680-0045鳥取市大工町頭33番地

電話 0857-32-7020

FAX 0857-32-7021

ホームページ <http://www.shimoda-clinic.com>

# 外来診療科担当医表

独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター

平成26年4月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科	循環器	松本		松本	松本	松本	
	呼吸器	山本	山本	山本			
神経内科	1	高橋	齋藤 (てんかん)	井上	金藤	土居充	
	2	下田	下田	金藤 (嚥下外来)	土居充	土井あかね	
	3	小西	土井あかね	齋藤	小西 (井上)	房安	
	4	房安		北川	三島		
	5			田中			
	専門外来 (予約制)	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害 てんかん	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害 嚥下障害 てんかん	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害	失語症 パーキンソン病 高次脳機能障害	
小児科		中野	小松	赤星	中野	赤星	
	専門外来 (予約制)	発達外来 小枝	発達外来 赤星	発達外来 中野 関			
精神科	初診	診察室6	坂本	休診	休診	兼子 助川	
	完全予約制ですので事前の予約が必要です。						
	再診	診察室1		助川	土井清	高田	坂本
		診察室2		坂本		助川	土井清
		診察室3		岩田		幡	柏木
		診察室5		池成			林
	専門外来 (予約制)	診察室8					板倉
					睡眠外来 坂本・高田		
					うつ病診断外来 14:00から	助川	
外科		古澤	古澤	古澤	古澤	古澤	
整形外科 (隔週：8:30~13:00)			市立病院 医師				
リハビリ入院相談 (13:00~15:00)	地域医療連携室	齋藤	齋藤	土井あかね	齋藤	齋藤	

- ◆所在地 〒689-0203 鳥取県鳥取市三津876番地
- ◆電話 0857-59-1111
- ◆診療受付時間 午前8時30分~午前11時30分
- ◆専門外来診療時間 午後1時30分~午後3時00分(睡眠外来の受付時間は午前中です)
- ◆休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始、ただし、急患の方はこの限りではありません。
- ◆ホームページ <http://tottori-iryō.jp/>
- ◆地域医療連携室 TEL 0857-59-1111 (内線275) FAX 0857-59-0713